

学校給食センターの大規模改修工事について

施設概要

| | |
|------|---|
| 名称 | 瑞浪市学校給食センター |
| 敷地面積 | 7,157.79 m ² |
| 建物構造 | 鉄骨一部2階建 |
| 床面積 | 1階 1,542.63 m ² 2階 705.10 m ² 附属棟 328.92 m ² |
| 能力 | 5,000食/日 |
| 使用開始 | 平成14年4月 |
| 事業費 | 1,323,880,000円 |

学校給食センターは、平成14年度から稼働しており、令和3年度で20年が経過する施設となっています。

その後平成24年度から3年をかけて、調理・洗浄機器のオーバーホール、平成26年度には屋根防水工事を実施しましたが、建物・設備共に老朽化が進んでいる状況にあります。

そこで、あと20年程度安心・安全に施設運営できるよう、令和元年度に改修調査・基本計画の策定を行い、現在は改修設計業務を行っているところです。

また、改修工事は居ながら工事となるため、夏休み等の期間しか行えないことから、3年間程度の分割実施を基本に検討を行っています。

令和3年度ふれあい給食事業について

事業概要

ふれあい給食事業は、毎年1月24日から30日まで実施される全国学校給食週間の一環として取り組む事業です。

事業内容は、毎年1つの小学校に瑞浪市の生産農家さんや教育委員の皆さんを招いて子どもたちと一緒に給食を摂りながら交流を図ることによって食育を推進することとしています。事業実施日は、野菜の収穫時期及びインフルエンザ等の感染症の流行時期を勘案し、平成30年度から12月に実施することとしています。

課題点

当該事業は、学校、生産農家に加えJA等関係団体の協力が不可欠であるため、その調整に時間がかかりますが、事業効果の範囲は実施校のみとなってしまうことが課題です。

また、令和2年度以降終息を見せない新型コロナウイルスの感染対策として学校給食が黙食となっていることから、給食時間を利用した交流が事実上困難な状況が継続していることも事業実施の問題点となっています。

令和3年度における対応

JA経済部の協力を得ることができたため、「みずなみの給食農家さん通信」(別添)を作成し、全国学校給食週間に合わせ全小中学生に配布することとしました。この通信に対する子どもたちの反応を見ながら、来年度以降のふれあい給食事業のあり方について見直したいと考えています。